

ガバナー月信 Vol.5

# GML

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

入って良かったロータリー

# 11

## 埼玉古墳群

「埼玉古墳群」は行田市の県名発祥の地「埼玉(さきたま)」にあります。古墳群は5世紀後半から7世紀中頃にかけて、大宮台地の北端に連続して築かれた、前方後円墳8基、大型円墳2基、方墳1基並びに小円墳群で構成される、全国でも屈指の規模の古墳群です。昭和43年の発掘調査により稲荷山古墳から出土した115の文字が刻まれた「金錯銘鉄剣」は、同古墳から出土したヒスイの勾玉や鏡などの副葬品とともに、一括で国宝に指定されています。

## CONTENTS

- |      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| P 2  | 五十幡ガバナーメッセージ                          |
| P 3  | ロータリー財団月間に因んで ロータリー財団委員会統轄委員長 茂木聡委員長  |
| P 4  | ロータリー財団セミナー 財団資金管理 寺田恭典委員             |
| P 5  | 2023年7月～2024年6月 財団寄付額報告書一覧            |
| P 6  | RLI ラーニングセミナー開催報告 RLI担当委員会 新島修一委員長    |
| P 7  | 世界インターアクト週間に寄せて 青少年プログラム委員会 高橋貴子統轄委員長 |
| P 8  | ガバナー公式訪問(新座こぶしRC/東松山RC/小川RC/東松山むさしRC) |
| P 9  | ガバナー公式訪問(川越小江戸RC/川越西RC/富士見RC)         |
| P 10 | ガバナー公式訪問(秩父RC/皆野・長瀨RC)                |
| P 11 | 表彰/新会員                                |
| P 13 | 会員数/今月・来月のスケジュール                      |



# 11月は

国際ロータリーの「ロータリー財団月間」です

2024-25年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー  
五十幡和彦 (行田さくらRC)

*Isohata Kazuhiko*

## ロータリー財団とは

ロータリー財団は1917年に基金として発足し1928年国際大会でロータリー財団と名づけられました。その後1931年に信託組織となり1983年には米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。ロータリー財団は財団の法人設立案と細則に従って、ロータリー財団管理委員会が慈善的かつ教育的目的のために運営されていますが、この目的の中には博愛、慈善、教育という特質があり、さまざまな国の国民の間に理解と友好関係を伸長させることが含まれています。 (1983年財団法人設立案の目的より)

## ロータリー財団管理委員会による財団資金の管理

国際ロータリーのロータリー財団管理委員会は、世界中のロータリー会員から受領した資金が勤勉と献身的な支援を反映した自主的な寄付であることを認識しています。ロータリー会員がロータリー財団に寄付を託したのは、本来の目的のために有効に利用されることを確信し理解したうえでのことです。従って、これらの資金を管理するという職責を負うロータリー財団管理委員会は、ロータリー財団のプログラムに関連するすべての活動において適切な財務管理を行うことが求められています。 (ロータリー財団章典34.010.)

## 地区補助金 (DG: District Grants)

地区補助金はロータリー財団の使命に関連した小規模で短期的なプロジェクトを支えています。2023-24年度、財団は485件の地区補助金を承認し、プログラム授与額は合計3,000万ドルを上まわりました。

## ポリオプラス (Polio Plus)

ロータリーとそのパートナー組織は30年以上にわたり、ポリオを世界から根絶する取り組みを行ってきました。ロータリーのポリオプラスプログラムは、子どもを対象とした大々的な予防接種を通じてポリオの根絶をめざす、世界で初めての取り組みです。このプラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核をさし、これらの病気への予防接種を行っています。

ロータリー会員は、これまでに22億米ドル以上を寄付し、122カ国、約30億人以上の子どもに予防接種を行うために多大なボランティア時間を捧げてきました。またアドボカシーを通じて各国政府からの100億ドル以上の資金を確保する上で重要な役割を担っています。



## グローバル補助金 (GG: Global Grants)

グローバル補助金はロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動(総予算額3万ドル以上のプロジェクト)に資金を提供するものです。活動には人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームが含まれており、2023-24年度、財団は1,285件のグローバル補助金を承認しプログラム授与額は合計8,200万ドルを上回りました。

## ロータリー財団の外部評価

ロータリー財団は、2023年、米国の慈善団体を評価する独立評価機関であるチャリティナビゲーターより15年連続で最高位の4つ星評価を受けました。

ロータリー財団が部門別のベストプラクティスを実践し、財務的に効率のよい方法でその使命遂行したこと、また、財務健全性、説明責任、透明性へのコミットメントを示したことが評価されたものです。



★★★★4つ星

チャリティナビゲーターによる  
慈善団体への最高評価



88%

資金の[88%]は  
プログラム補助金・  
運営費に費やされて  
います

## ロータリー財団への理解と寄付目標達成

ロータリーの目指す世界平和、ポリオ根絶には財源が必要です。改めて「世界でよいことをしよう」をモットーとする貢献を、持続可能にすべく法人化されたのがロータリー財団であり、公益財団法人ロータリー日本財団はこの活動を支援すべく「特定公益増進法人」として税制上の優遇措置が認められています。世界平和とポリオを根絶するためにも、ロータリー財団への理解と年次基金など目標達成に向けた会員とクラスによるロータリー財団へのご理解と寄付をお願いします。



## ロータリー財団月間に因んで

ロータリー財団委員会統轄委員長  
茂木 聡 (本庄RC)

*Motegi Satoshi*

### ロータリー財団の使命 (The Mission of the Foundation)

1917年、当時のロータリー会長アーチ C. クランフが「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。

このビジョン、そして26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人の人生を変える財団へと発展しました。



アーチ C. クランフ

ロータリーの特別月間のうち、11月は「ロータリー財団月間」です。

ロータリー財団の行いは、ロータリーの使命【ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進すること】を実行することだけを目的に行っています。ロータリーの活動は、単に国際ロータリーという団体が活動しているのではなく、実際には一人ひとりのロータリアンが実行することによるものです。ロータリー財団は、ロータリアンがその使命を実現するためのお手伝いをするために存在するものです。

とかく難しいと言われるロータリー財団ですが、ロータリー財団のプログラムは3つだけです。国際ロータリーの最優先項目であるポリオ根絶を支援する「ポリオプラス」。平和および紛争解決の分野におけるリーダーを育成・支援するための奨学金プログラムの「ロータリー平和フェローシップ」。そしてロータリアンが奉仕活動をするときに使える「補助金」。ロータリー財団の独自の方法で「シェア・システム」があり、ロータリアンからの寄付の多くが補助金として配分されるものです。

ロータリアンが行った寄付は、ロータリー財団の資金となりいろいろなかたちで世界中の奉仕活動に使われています。地区に戻ってきて、地区内クラスの奉仕活動に使われるものもあります。ロータリー財団の資金の使い道を決定するのは、私たち普通のロータリアンなのです。

最後にロータリー財団の父と呼ばれるアーチ C. クランフが残した言葉を紹介しします。

「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない。たとえ、大理石に文字を刻んだとしても、やがては崩れてしまうだろう。だが、心の中にその精神を刻むなら、そしてロータリー精神と、神を恐れ同胞を愛する気持ちを吹き込むならば、我々が刻んだものは永遠に輝き続け、文明の続く限り、ロータリーを不滅のものとするだろう。」

ロータリー活動で重要なファクターである財団寄付は、自らの意思で地域を良くするための行為であることを認識いただき、ロータリー財団へのご支援をお願い申し上げます。



## ロータリー財団セミナー

財団資金管理委員

寺田恭典 (深谷RC)

*Terada Yasunori*

9/7  
土曜日

嵐山の国立女性教育会館において本年度のロータリー財団セミナーが行われました。本セミナーは、地区内クラスの会長、財団委員長を対象にロータリー財団の役割と使命及び地区財団組織と各委員会の役割についてその概要をクラス会員の理解を深めてもらうためのリーダー研修会という位置付けで開催しました。

当日の参加者は80名を超え、内容も盛りだくさんとなり盛況のうちに終了致しました。開会に当たり、五十幡和彦ガバナーより財団はロータリー会員が継続的に事業に取り組むための重要な資金管理を行っており、特に世界平和のための活用の重要性を強調。

また、ポリオ根絶の最終段階の取り組みに向けた地区活動を強化したいこと。

最後に地区のPHS(ポールハリスソサエティ)が、昨年のこのセミナーを契機に9名増え、今後の地区大会での表彰を続けていきたい旨の報告がありました。

セミナーの後半では、江崎浩史奨学学友・平和フェロー委員会委員長より近年の派遣奨学生及び2025-2026年度派遣グローバル補助金奨学候補生についての紹介があり、候補生2名については、本人より自己紹介をいただきました。



### 中村悦子さん(羽生RC) 母子の健康

助産の専門家として実務を重ね、アフリカ他の海外支援派遣の経験を通じ、さらにもう少し多面的な学び直しの機会として奨学生を希望

### 穴戸真生さん(志木RC) 平和構築と紛争予防

大学生の時の交換留学を通じ、社会の深刻な移民難民問題を体感。JICAインターンを経験



### 当日スケジュール

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| 1 点鐘                 | 9 ロータリー財団における危機管理               |
| 2 地区役員紹介             | 10 派遣奨学生及び候補生について               |
| 3 挨拶                 | 11 2025-26年度派遣グローバル補助金奨学候補生自己紹介 |
| 4 PHS入会の意義とファンドレイジング | 12 ポリオ根絶するために                   |
| 5 セミナー主旨説明           | 13 講評                           |
| 6 財団寄付の実績と目標         | 14 点鐘                           |
| 7 財団の補助金             |                                 |
| 8 財団補助金の管理           |                                 |



# 2023年7月～2024年6月 財団寄付額報告書一覧

表示:米ドル

## 第1グループ

クラブ名	会員数	年次基金		ポリオプラス基金 (実績額)	その他の基金 (実績額)	恒久基金 (実績額)	合計寄付額 (実績額)	一人当たりの寄付額
		一人当たり	実績額					
川越	100	114.22	11,421.77	5,274.57	0.00	3,000.00	19,696.34	197
東松山	22	451.26	9,927.72	1,675.00	0.00	675.00	12,277.72	558
小川	7	46.43	325.00	195.00	0.00	130.00	650.00	93
坂戸	28	160.71	4,500.00	840.00	0.00	840.00	6,180.00	221
越生毛呂	10	247.50	2,475.00	285.00	0.00	285.00	3,045.00	305
川越小江戸	10	155.00	1,550.00	330.00	0.00	330.00	2,210.00	221
川越西	24	91.65	2,199.49	835.34	0.00	719.69	3,754.52	156
鶴ヶ島	30	105.46	3,163.69	900.00	0.00	900.00	4,963.69	165
川越中央	23	118.04	2,715.00	705.00	0.00	705.00	4,125.00	179
坂戸さつき	18	158.33	2,850.00	570.00	0.00	570.00	3,990.00	222
東松山むさし	39	146.79	5,725.00	1,155.00	0.00	1,155.00	8,035.00	206

## 第4グループ

クラブ名	会員数	年次基金		ポリオプラス基金 (実績額)	その他の基金 (実績額)	恒久基金 (実績額)	合計寄付額 (実績額)	一人当たりの寄付額
		一人当たり	実績額					
深谷	56	86.19	4,826.77	1,926.34	0.00	1,725.00	8,478.11	151
本庄	90	90.94	8,184.23	12,610.00	0.00	2,610.00	23,404.23	260
秩父	48	51.04	2,450.00	1,674.08	0.00	1,470.00	5,594.08	117
寄居	33	118.76	3,918.99	1,065.00	0.00	1,065.00	6,048.99	183
児玉	2	50.00	100.00	60.00	0.00	60.00	220.00	110
岡部	16	50.00	800.00	480.00	0.00	480.00	1,760.00	110
深谷東	63	51.98	3,275.00	0.00	0.00	1,965.00	5,240.00	83
皆野・長瀬	6	54.17	325.00	195.00	0.00	195.00	715.00	119
深谷ノース	25	50.00	1,250.00	750.00	2,100.00	0.00	4,100.00	164

## 第2グループ

クラブ名	会員数	年次基金		ポリオプラス基金 (実績額)	その他の基金 (実績額)	恒久基金 (実績額)	合計寄付額 (実績額)	一人当たりの寄付額
		一人当たり	実績額					
新緑	21	319.76	6,715.00	665.57	1,000.00	1,301.31	9,681.88	461
志木	48	165.10	7,925.00	1,455.00	0.00	1,455.00	10,835.00	226
富士見	33	181.82	6,000.00	1,420.00	0.00	1,065.00	8,485.00	257
新産	22	100.00	2,200.00	660.00	0.00	660.00	3,520.00	160
和光	12	115.94	1,391.33	345.00	0.00	345.00	2,081.33	173
新産こぶし	8	342.58	2,740.67	461.90	0.00	325.94	3,528.51	441

## 第5グループ

クラブ名	会員数	年次基金		ポリオプラス基金 (実績額)	その他の基金 (実績額)	恒久基金 (実績額)	合計寄付額 (実績額)	一人当たりの寄付額
		一人当たり	実績額					
熊谷	95	131.81	12,521.64	3,356.19	0.00	2,880.00	18,757.83	197
行田	55	68.64	3,375.00	1,665.00	0.00	1,665.00	7,105.00	129
羽生	39	102.56	4,000.00	3,200.00	0.00	1,200.00	8,400.00	215
加須	23	83.32	1,916.36	660.00	0.00	660.00	3,236.36	141
熊谷西	8	50.00	400.00	240.00	0.00	240.00	880.00	110
行田さくら	51	308.06	15,711.26	3,806.67	0.00	36,573.61	56,091.54	1,010
熊谷東	20	48.75	975.00	585.00	0.00	585.00	2,145.00	107
吹上	6	50.71	304.26	182.55	0.00	182.55	669.36	112
熊谷藤原	27	77.78	2,100.00	840.00	0.00	840.00	3,780.00	140
熊谷南	26	129.81	3,375.00	825.00	0.00	825.00	5,025.00	193

## 第3グループ

クラブ名	会員数	年次基金		ポリオプラス基金 (実績額)	その他の基金 (実績額)	恒久基金 (実績額)	合計寄付額 (実績額)	一人当たりの寄付額
		一人当たり	実績額					
入間	39	231.54	9,030.00	1,170.00	0.00	1,170.00	11,370.00	292
所沢	58	120.26	6,975.00	1,785.00	0.00	1,785.00	10,545.00	182
飯能	64	81.64	5,225.00	1,935.00	0.00	1,935.00	9,095.00	142
新所沢	17	99.41	1,690.00	390.00	0.00	90.00	2,170.00	128
日高	20	145.00	2,900.00	600.00	0.00	600.00	4,100.00	205
所沢西	35	95.00	3,325.00	0.00	0.00	0.00	3,325.00	95
新狭山	18	50.00	900.00	540.00	0.00	540.00	1,980.00	110
所沢東	49	146.67	7,186.90	1,455.00	0.00	1,455.00	10,096.90	206
入間南	38	148.03	5,625.00	1,155.00	0.00	1,155.00	7,935.00	209
所沢中央	18	101.39	1,825.00	0.00	0.00	0.00	1,825.00	101
狭山中央	19	50.00	950.00	570.00	0.00	570.00	2,090.00	110

# RLI・ラーニングセミナー開催報告

RLI担当委員会委員長

新島修一（深谷ノースRC）

9/28

土曜日

Niijima Syuichi

時間・場所 14時～16時40分 国立女性教育会館

内 容 一部 基調講演

「クラブ活性化のために会員増強しましょう」  
講師 RI第2840地区パストガバナー田中久夫様（高崎RC）

二部 グループディスカッション

クラブ活性化のための会員増強について受講者による  
グループディスカッション

ガバナー補佐・各クラス会長・幹事・ラーニング委員長他約50名の皆様に参加していただき、五十幡和彦ガバナーの開会点鐘・相原茂吉地区ラーニングファシリテーター及び渡邊藤男地区ラーニング委員長の挨拶により開始されました。

一部 基調講演で、田中様は「クラブ活性化を阻む5つの壁」として、困ったクラスに共通する問題点を指摘されました。そのうえで、クラスメンバーを「クラスを率いて欲しい人」「自覚して改善して欲しい人」の二つのタイプに分け、それぞれの分析をされました。そして「若手の“挑戦君(Challenger)”の出現」がクラスを活性化すると話されました。ロータリーの魅力については、「自分磨きの旅」を経験できること（「人生の道場」米山梅吉翁）であり、その答えは「例会」の充実にあるはずと話されました。

二部では、受講者が12名程度の4グループに分かれ、「クラブ活性化のための会員増強」をテーマにディスカッションを行いました。参加者の皆様はクラスや地区で中心的な役割を担っている方であり、各グループ違った角度から活発な意見が出され、新たな気づきがありました。講評を坂本元彦RLI日本支部地区代表委員からいただき、ガバナーの点鐘で閉会しました。

いよいよ、RLIのPart1～Part3が、10月26日・12月21日・翌年2月8日に国立女性教育会館で開催されます。RLIは、質の高いリーダーシップの研修を通じて、会員のロータリースキルを高め、クラスの活性化を願った、草の根の他地区合同プログラムです。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。







## 世界インターアクト週間に寄せて

青少年プログラム委員会  
統轄委員長

高橋貴子 (行田さくらRC)

*Takahashi Takako*

インターアクトクラスに関して国際ロータリーの取り組みと当地区の活動の様子をご報告させていただきます。

国際ロータリーにおいて「世界に友だちを広げながらボランティア精神と国際感覚を身につける」ことを目標にインターアクトクラス活動を推奨しています。

インターアクトクラスは、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(通称「インターアクター」)との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。

ロータリークラスの支援を受けて設立されるインターアクトクラスでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

当地区では現在、7つのインターアクトクラスが顧問教師の先生方の指導の下、それぞれの学校ごとにインターアクトクラス活動を続けております。

ただ、あくまで参加している生徒達の本分は学業および学校生活、家庭での生活が第一でありここ数年間の「コロナ禍」においては活動することが困難になりすべての活動がストップしておりました。

当地区では昨年5月に政府による緩和方針の発表以来、徐々にコロナ禍前の活動形態に復帰してきており本年2024年になり2月に「ライラデー」、そして7月には「インターアクト年次大会」を再開いたしました。

インターアクターの中学、高校生にとっては初めての地区関連の行事参加となり顧問教師の先生方ともども私もロータリアンもやっとここまで来たなあという思いです。

顧問教師の先生方からの報告ではコロナ禍前までは老人施設などでのボランティアが行えたものが現在もそれらの施設での活動は休止のままで再開できていないとのこと。ただ若い学生達は、へこたれずに新たな活動を始めています。その一例として当地区の、ローターアクトクラス(大学生)と一緒に地域の子どもたち向けに自治会組織主催のイベントに参加して「マジックショー」などを行ったとの活動報告も届いています。

ある高校生などは自主的に活動を企画し顧問教師、校長先生に相談して新たに活動に挑戦しているようです。7つのインターアクトクラスを提唱しているロータリークラスの皆様だけでなく地区のロータリアンの皆様にもまわりのボランティア活動のパートナーとして、インターアクトクラスの生徒達と何か一緒にできないかご高察いただきたいと存じます。

ご相談その他につきましては地区・青少年プログラム委員会にご連絡ください。



<https://www.rotary.org/ja/get-involved/interact-clubs/details>



9/11  
水曜日

ベルセゾン

会長 加藤 涼聖

幹事 戸高 健司

新座こぶしRC

炎天下の地区ゴルフ大会の翌日五十幡和彦ガバナー公式訪問例会を開催しました。今回、2名の新会員が、会長幹事とガバナーの懇談会に出席でき、入会間もない会員にとって地区ガバナーとお話することはとても刺激的な体験になりました。

例会には田島高久ロータリーの友地区代表委員もお越しいただき、五十幡ガバナーのお人柄あふれる卓話を全会員と米山記念奨学生で拝聴しました。

クラブ協議会では「ロータリーに入って良かったこと」を全会員が5分ずつで発表。小規模クラブだからこそ、それぞれの個性的なエピソードを聞くことができました。

五十幡和彦ガバナーをはじめ、ご同行いただきました、島田敏郎ガバナー補佐、川野健人地区副幹事、行田さくら中村重継会員に心より感謝申し上げます。

9/12  
木曜日ガーデンホテル  
紫雲閣東松山東松山RC 会長 小高 春雄  
幹事 笠原 俊也小川RC 会長 戸口 勝  
幹事 中村 悟東松山  
むさしRC 会長 鯨井 美知子  
幹事 牧野 大俊

当日は、五十幡和彦ガバナー、坂口孝ガバナー補佐をお迎えし、3クラブ合同による例会を開催いたしました。今年度のホストクラブは東松山むさしRCです。入会3年未満の会員との懇談会も、活発で有意義な意見交換が行われました。その後、ガバナー及びガバナー補佐を囲みながらの夕食会になりました。

18時に東松山むさしRCの会長鯨井美知子の開会点鐘で例会が始まり、各クラブの活動ならびに今後の活動目標を発表しました。例会では五十幡ガバナーの情熱と活気に満ちた卓話を皆が堪能しました。

クラブ協議会においては、RLI方式で「ロータリーに入って良かったこと」をテーマに7つのグループに分かれ、30分間のセッションを行いました。

ファシリテーターと書記は事前に決めてあったので、各グループは2分の持ち時間で素晴らしい発表を行って下さいました。最後に、ガバナーとガバナー補佐をアーチと拍手で無事にお見送りすることが出来ました。

ご協力していただいた各クラブの皆様方には心より感謝を申し上げます。





9/18  
水曜日

## 川越プリンスホテル

川越西RC

会長 久保田 徹 幹事 大原 晶子

川越小江戸RC

会長 大谷 龍之 幹事 福山 健朗

本年度も川越プリンスホテルにて川越小江戸クラブ、川越西クラブ合同のガバナー公式訪問例会を開催させて頂きました。到着後間もなく五十幡ガバナーには入会3年未満の会員との懇談会に臨んで頂き、約15名にも及ぶメンバー1人1人に丁寧な受答えを頂いたことには参加したメンバーから思い出深い懇談になったとの感想も御座いました。

卓話ではガバナーの一丁目一番地である「入って良かったロータリー」に終始ふれて頂き、増強とその先にある会員相互の関係づくりの大切さを改めて知り得る機会となり、その後「ロータリーに入って良かったこと」をテーマとしたラーニングファシリテーター主導のフリーディスカッションが活発に行われ、全会員から寄せられた意見の集約を図り、多くは人脈・仲間づくりと言ったリレーションシップに係わるメリットや一人では成し得ない超我な奉仕に携われる素晴らしさ、中には例会開催曜日の食事の心配がないなど身近でユーモアな意見なども発表され、とても有意義なひと時となりました事に改めて感謝を申し上げます。

9/20  
金曜日

## 島田ビル1F

会長 桑原 福治

幹事 日鼻 靖

## 富士見RC

不安定な天気の中五十幡ガバナーの公式訪問が行われました。

五十幡和彦ガバナー、島田敏郎ガバナー補佐、地区幹事田島博夫様(行田さくらRC)、ロータリーの友地区代表委員田島久様(深谷RC)、行田さくらRC会員の渡辺昭孝様をお迎えしてのガバナー公式訪問となりました。

例会の前に五十幡ガバナーと、今年度入会した志摩会員、伊藤会員、入会5年未満の秋元会員、手島会員、塩野会員を交えて懇談が行われました。はじめは緊張していた新入会員たちも五十幡ガバナーの柔和な笑顔を交えたあたたかなリードのおかげで徐々に打ち解け、入会に至った経緯、入ってよかったことなどの話題で盛り上がりしました。そして12時半より例会に入り五十幡ガバナーに卓話をいただきました。クラブ協議会では五十幡ガバナーの活動方針の中核である「入って良かったロータリー」というテーマで4テーブルに分かれてグループディスカッションを行いました。各テーブルより多彩で多様な発表があり、五十幡ガバナーよりありがたい講評をいただき、これからのクラブライフに大変有意義な時間を過ごさせていただき、改めて入ってよかったロータリーを実感したガバナー公式訪問になりました。





9/24  
火曜日秩父神社  
参集殿 榊の間

秩父RC

会長 今泉学之

幹事 宮前隆一

皆野・長瀬RC

会長 高田富康

幹事 畝 徳治

五十幡ガバナー、柴崎ガバナー補佐、行田さくらクラブより早崎地区副幹事、羽鳥様、橋本様をお迎えし、皆野・長瀬クラブ・秩父クラブの合同例会としてガバナー公式訪問が行われました。

入会3年未満の会員との懇談会では、15名の参加のうち支店等の引継の会員の割合が多く、各本店から秩父地域が認められているからだとの嬉しいお話がありました。例会では、「ロータリーのマジック」の由来から「入って良かったロータリー」へとつながり、現在のロータリーの状況、目指すところをわかりやすく、熱のこもったご講演をいただきました。

その後のクラブ協議会では各会員から積極的な意見を聞くことができました。今後も理念でつながった同志としてバッジを携え、活動して参ります。貴重な機会をいただき、まことにありがとうございました。



## 11月はロータリー財団月間です

### 財団へのご寄付の活用例



嵐が過ぎ去ったあと

ハリケーン「マリア」に見舞われたプエルトリコの地域社会の復興を支援するために、ロータリークラブが力を合わせています。



明かりの力

デュランゴ（米国コロラド州）のクラブは、財団の補助金を活用して、電力の通じていない人里離れたナバホ族居住地の家庭に200以上のソーラーライトを設置しました。>



頼れる場所がない人びとのために

ロータリアンである医師、ピア・シュカラビス・ケルフェルトさんは、長年、ベルリン（ドイツ）の難民を支援する医師のボランティアネットワーク構築に身を捧げてきました。

<https://www.rotary.org/ja/about-rotary/rotary-foundation>



# 表彰

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 1回



志木

宮原 俊介

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 1回



志木

影山 和良

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 1回



志木

遠藤 貴博

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 3回



志木

武藤 典夫

ポール・ハリス・ソサエティー 1回



熊谷南

清水 保人

ポール・ハリス・ソサエティー 1回



熊谷南

植野智恵子

ポール・ハリス・ソサエティー 1回



熊谷南

鈴木 聡

ポール・ハリス・フェロー 1回



熊谷南

石井 一則

ポール・ハリス・フェロー 1回



所沢西

徳江 和宏

マルチスル・ポール・ハリス・フェロー 1回



所沢西

高橋 和男

メジャードナー 1回



吹上

鈴木 秀憲

ポール・ハリス・ソサエティー 7回



所沢

鳥居由美子

米山功労者 1回



所沢西

木下 精基

米山功労者メジャードナー 11回



狭山中央

東 美栄

米山功労者メジャードナー 10回



行田さくら

五十幡和彦

米山功労者マルチスル 9回



行田さくら

矢澤 大和

米山功労者マルチスル 4回



坂戸

新井 正健

米山功労者マルチスル 2回



坂戸

中村 幹也

米山功労者マルチスル 4回



所沢

鳥居由美子

米山功労者 1回



所沢

市川 雅巳

Rotary

New  
Face

新  
会  
員



本庄

四方田 勇二

2024/7/18入会

Yujiro 代表

紹介者 笠本盛・真下敏明



本庄

矢野間 規

2024/7/18入会

くるくる代行 代表

紹介者 笠本盛・真下敏明



所沢

平岩 和弥

2024/10/1入会

フルデンシャル生命保険(株)シニアコンサルティング

紹介者 市川雅巳・斉藤祐次



所沢

丸山 祐一

2024/10/1入会

東日本電信電話(株)埼玉西支店 副支店長

紹介者 日向貴一・三上 誠・浅海剛次



熊谷南

日向 弘薫

2024/9/11入会

(株)末広不動産 代表取締役

紹介者 清水保人



秩父

猫田 隆之

2024/10/1入会

UBE三菱セメント(株)横瀬工場 工場長

紹介者 加藤嘉郎



志木

宮川 慎太郎

2024/10/2入会

(株)みやかわ 代表取締役社長

紹介者 遠藤貴博・高橋 良



会 員 数 (人)						My Rotary
クラブ名	2024 年度初め	2024 9月 末	対 年 初 増 減	女 性 会 員	登 録 率 (%)	
第1グループ	川 越	99	102	3	5	44
	東 松 山	23	23	0	2	35
	小 川	5	5	0	1	0
	坂 戸	28	28	0	1	20
	越 生 毛 呂	8	8	0	1	0
	川越小江戸	15	15	0	2	47
	川 越 西	26	30	4	4	48
	鶴 ケ 島	29	30	1	2	63
	川越中央	21	22	1	1	23
	坂戸さつき	19	19	0	3	52
合 計 (11RC)						avg. 33
第2グループ	朝 霞	23	24	1	2	50
	志 木	48	48	0	4	50
	富 士 見	35	38	3	0	57
	新 座	25	25	0	4	18
	和 光	4	4	0	1	25
	新座こぶし	11	11	0	3	55
合 計 (6RC)						avg. 42
第3グループ	入 間	38	38	0	1	47
	所 沢	63	60	-3	4	29
	飯 能	64	68	4	1	17
	新 所 沢	19	19	0	2	32
	日 高	19	18	-1	3	35
	所 沢 西	39	39	0	4	31
	新 狭 山	14	14	0	0	86
	所 沢 東	46	47	1	1	30
	入 間 南	37	37	0	0	55
	所 沢 中央	18	18	0	2	78
合 計 (11RC)						avg. 43
第4グループ	深 谷	54	56	2	13	46
	本 庄	89	101	12	12	36
	秩 父	51	54	3	1	33
	寄 居	35	37	2	0	8
	児 玉	2	2	0	0	0
	岡 部	17	17	0	2	63
	深 谷 東	74	74	0	0	37
	皆野・長瀬	7	7	0	0	29
	深谷ノース	25	25	0	2	48
合 計 (9RC)						avg. 33
第5グループ	熊 谷	98	97	-1	4	52
	行 田	54	55	1	5	12
	羽 生	38	40	2	2	13
	加 須	21	23	2	0	0
	熊 谷 西	7	7	0	0	29
	行田さくら	50	51	1	3	75
	熊 谷 東	17	17	0	0	20
	吹 上	5	5	0	0	80
	熊谷籠原	30	30	0	0	43
	熊 谷 南	27	30	3	2	43
合 計 (10RC)						avg. 37
合 計	クラブ数	年度初め	9月末	増 減	女性会員	My Rotary登録率
	47	1,534	1,574	40	110	37

## SCHEDULE 主な活動スケジュール

### 11月

- 2日 (土) } スリーデーマーチ (3日は地区参加)
- 3日 (日) }
- 4日 (月) }
- 23日 (土) } 地区大会
- 24日 (日) }
- 26日 (火) 朝霞RC公式訪問
- 30日 (土) 国際奉仕委員会セミナー

### 12月

- 7日 (土) 富士見RC周年
- 8日 (日) 青少年交換クリスマス
- 12日 (木) 財団地域セミナー
- 13日 (金) }
- 14日 (土) } ロータリー研究会
- 15日 (日) }
- 21日 (土) RLIパートII
- 22日 (日) 米山カウンセラー会議

## ガバナー月信 11月号

2024-2025年度 vol.5

月信についてのお問合せ

ガバナー月信編集委員会 委員長 川野健人  
kawano.kento@drive.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 ガーデンホテル紫雲閣内  
TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571  
E-mail d-office@mail.rid2570.gr.jp <https://www.rid2570.gr.jp/>